

枚方教育

No. 1840
2020. 7. 10

枚方教職員組合
枚方市西禁野一丁目三
Tel 八四八・三三〇〇
FAX 八四八・三〇五二

「みんなのえがお署名」 コロナ禍で浮き彫りに 少人数数学級の実現を!

長期休校で学力格差の拡大 子ども・教員に大きな負担

新型コロナウイルスの拡大で、三密が避けられない日本の学校は長期休校が続く中で、学習保障が大きな課題になりました。

大量の家庭学習課題や、ICT教材、オンライン授業などが急遽広がったものの、家庭任せの側面が大きく学力格差が懸念されています。

再開後も休校を取り戻すつめこみ授業、授業時間積み上げで子どもにも教員にも大きな負担がのしかかっています。ところが、市内の小規模校では分散登校でも、2部制授業の必要がなく、ゆとりの中で授業展開ができたことから、少人数数学級の絶大な効果が見られる目にも明らかになっています。

全国知事・市長会 少人数数学級を政府に要望

全国知事会、市長会、町村会の3団体は7月2日、文部科学大臣に対して少人数数学

級実現のための教員確保、ICT教育環境整備のための予算確保を要望しました。

要望書では、今の教室と40人学級では三密が避けられないことや、感染拡大でも学びの保障のためには少人数学級が不可欠としています。

教育に近い自治体にとって、少人数学級は全国の行政をあげての切実な要求です。

山梨県はナント!! 小1を25人学級へ

山梨県で昨年当選した自民・公明などが推す保守系知事は、公約だった25人学級導入のために検討委員会を設置して実現に向けて検討を続けてきました。

今年1月に検討委員会は、小1に25人学級を導入すること、小2・4も今後検討していくとする報告書を知事に提出しました。

知事は公約で小中学校全学年での25人学級実現を訴えて当選していました。今や、政党や立場を越えて、少人数学級実現、拡充は切実

安倍政権、実現のはずの 少人数数学級を20年中断

もともとは2018年には中3までの35人学級と小1・2までの30人学級実現の計画があり、全国的にも大きな期待が寄せられていました。

ところが第1次安倍政権成立後、小3以降の35人学級が停止。以後20年間も放置されたままとなり、結局、途上国並みの教育条件になりはてしてまっています。

一方で全国的に統廃合を進め、施設一体型の小中一貫校を目玉校として設置をすすめ、全国学力テストで小学校からの競争と落ちこぼしの政策を強引に進めてきました。

維新政治もとにかく 少人数数学級否定と統廃合

大阪の維新の会も13年前の橋下元知事が、小1・2の35人学級を廃止して習熟度別授業にしようとして大きな反対にあいました。

その後、全国の都道府県が独自に少人数学級を導入

している中で、大阪府は一切導入せず、学力テストをテコに子どもと教員を締め付け競争させてきました。

その結果、全国の都道府県で、独自の少人数学級を導入していないのは大阪、熊本、広島の3府県のみという状態になっています。

橋下徹元府知事は、果てしなく公立高校を統廃合に追い立てる条例を作り、大阪市の吉村元市長、松井現市長は小学校を住民、保護者を無視して統廃合を可能にする条例を制定して、一部の特別な小中一貫校設置を強引に進めてきています。

伏見・枚方市長も 少人数数学級の公約消える

維新の会の伏見枚方市長は1期目の当選時に「小6までの35人学級、小3までの30人学級」を公約に掲げていました。

しかしその後、小6までの40人超学級の解消はしたものの、従来の公約はいつの間にか取り下げて、高学年は「小学校教科担任制」に変わってしまったのです。

さらには、コロナ禍の中でも、大規模な統廃合計画の再開を狙っています。

エリート教育のために 大多数の子どもを犠牲に

安倍政権も橋下・松井・吉村氏ら維新政治も、共通するのは、教育政策の根底に

あるのが、テスト中心の競争主義で大多数の子どもたちを犠牲にする一方で、ごく一部の大企業や政府の求めるエリート教育を突出して進める考えに他なりません。

その結果、安倍政権や、大阪の維新府政のもとで、不登校や子どもの暴力行為、いじめなどの増加が止まりません。

「みんなのえがお署名」で 今度こそ少人数数学級実現へ

大阪教職員組合、枚方教職員組合は「2021年度予算に向けた文部科学省概算要求のための要請書名「みんなのえがお署名」を進めています。ネット署名も可能になっています。力を合わせ、少人数学級を実現させていきましょう。

維新政治、安倍政権 教育政策の根底

■維新の教育 格差を広げてエリート育成を

「格差を生んでよい」「格差を受け入れてでも、秀でた者を育てる必要がある」教育基本条例制定時の中心・坂井良和(維新の会)

■安倍政権 統廃合で浮いたお金をエリート教育に

「教育財源確保に当たっては、学校統廃合等によって生じた財源を教育の質向上に活用すべき」(教育再生実行会議 第五次提言)
「特に優れた才能を有する人材の発掘、育成」を提言(第九次提言)

「みんなのえがお署名」
ネット署名
QRコード



教育予算をふやして(♡)
かがやけ!みんなのえがお

教育の無償化! 35人学級の前進! せんせいふやそう!

教職員定数の抜本的改善を
~1年単位の定形労働時間制ではなく、
やっぱり「せんせい ふやそう」
学習指導要領の改訂によって授業時間が減っているのに、それに合わせた教職員の定数増がわけていません。それどころか、各地で必要な教職員が配属されない(教育にがっかり)実態が続いています。
教職員の長時間労働の解消は「待ったなし」の課題ですが、「1年単位の定形労働時間制」(※)の導入では解決になりません。教職員定数を大幅に増やす必要があります。



毎年夏に北河内の教職員が集まり交流や学習をする北河内サマーフェスタが、7月23日(木・休)1時半から開催されます。
今年はコロナ対策も考えZoom会議で開催します。
全体会や、国語、算数、中学校生徒会などの分科会も予定しています。
Zoom参加希望の方は、ぜひ「北河内サマーフェスタ」公式アカウントへ登録して下さい。
ID、PWをお知らせします。



北河内サマーフェスタ
公式アカウント
QRコードに登録を

7/23 (木・休)は
北河内サマーフェスタ